

**第 2 回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会 議事要旨**

日時：平成 25 年 5 月 13 日（月）13:00－16:00

場所：国立がん研究センター 国際研究交流会館 3 階

参加者：都道府県がん診療拠点病院連絡協議会相談支援部会責任者および実務者、  
ならびに都道府県の相談支援部会責任者等（資料 2 参照）

**I. 開会のあいさつ**

（都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会議長 国立がん研究センター理事長 堀田知光）

昨年がん対策推進基本計画の見直しの閣議決定があり、その中でも相談支援の部分は重要なテーマとして話し合われていること、特に最近のがん診療提供体制のあり方に関する検討会等で 3 つのポイントが議論されていることの確認があった。1 点目は、地域でカバーできない 2 次医療圏を拠点病院とのグループ指定でカバーすること、2 点目は拠点病院の活動について PDCA サイクルをつくり改善を図ること、3 点目は拠点病院に研究機能を付加することである。拠点病院への期待はますます高くなっており、拠点病院の皆さまの活躍を期待したい旨あいさつがなされた。

**II. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会設置要領の確認(国立がん研究センターがん対策情報センター長 若尾文彦) (参考資料 1)**

本部会は昨年 7 月の親会で設置が認められ、昨年 11 月に第 1 回を開催し、その後部会委員にアンケートを実施したことが報告された。次いで、本部会の設置要項の第 2 条(3)に、現場のみでは解決が難しい施策・制度面の改善等の必要事項の整理と提言に向けた素案作成が規定されていることが確認され、現在進められている拠点病院の指定要件の見直しについて、本部会で議論の上、拠点病院としての意見を早急に取りまとめていきたいと説明があった。

今年 4 月にがん情報提供研究部長に高山が任命されたため、以降、高山を中心に議事進行がなされることとなった。

**III . 議事内容**

（国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供研究部長 高山智子) (資料 3)

**1. がん診療連携拠点病院をとりまく現在の状況 (参考資料 2)**